

中期経営計画 「VISION75（2007）」

富士フイルムホールディングス株式会社
2007年4月27日



本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

VISION75（2006）レビュー

■ VISION75（2006）全般

▶ 策定当初の計画を上回り順調に進展

VISION75（2006）の重点課題

- イメージング分野を中心とした抜本的な構造改革の仕上げと2007年度からのV字回復
- フラットパネルディスプレイ（FPD）材料・電子材料・インクジェット用インク等の「高機能材料」「メディカルシステム・ライフサイエンス」「グラフィックシステム」「ドキュメント」「光学デバイス」を重点事業分野とした成長戦略の推進
- 「富士フイルム先進研究所」を軸に、研究開発投資のさらなる重点化による将来を担う新規事業・新規製品の早期創出
- 持株会社化を契機とした連結経営のさらなる強化と全体最適追求による企業価値の増大

2007年度でのV字回復実現へ

■ 構造改革

写真感光材料分野

- 三極(日・米・欧)生産体制の再編
 - ✓生産設備の一部停機
 - ✓再編に伴う人員スリム化
- 販売経費・研究開発投資等の最適化
 - ✓販売/流通における人員スリム化と徹底的な経費削減
 - ✓研究開発投資の大幅縮小
 - ✓ラボ拠点の統廃合の推進

電子映像事業分野

- 高感度路線を中核とした特長ある商品ラインアップの強化
- 国内生産体制の縮小と中国量産体制の確立
- 徹底的な経費削減とSCM強化によるトータル在庫削減



構造改革の結果

累計構造改革費用 ※ (億円)

05年度	06年度	累計
860	1,165	2,025

※スリム&ストロング活動関連費用含む

人員削減数・・・5,000人強
(2007年3月末時点)

コスト削減効果(億円)

2006年度	400
↓	
2007年度(予)	550

■ 成長戦略の推進

設備投資

- FPD材料
 - ✓富士フイルム九州(株)でのフジタック生産工場稼働開始、神奈川工場足柄サイトでの超広幅「フジタック」の開発・生産新工場の建設も決定 他

M&A

- メディカルシステム
 - ✓放射線医薬品のリーディングメーカー (株)第一ラジオアイソトープ研究所を買収
 - ✓循環器部門向け医療画像情報システムメーカーProblem Solving Concepts Inc.を買収
- インクジェット
 - ✓産業用インクジェットプリンター用ヘッドのトップメーカー ダイマティックス社を買収 他

新規事業

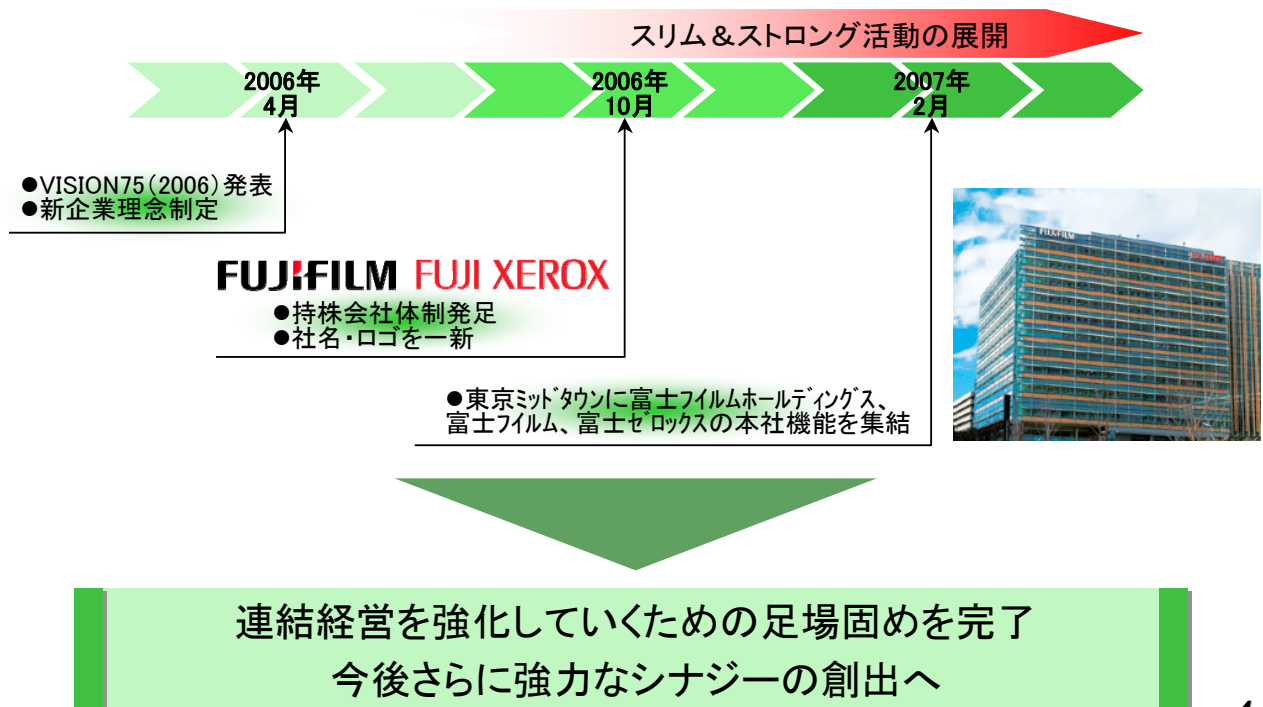
- ライフサイエンス事業においてヘルスケア分野に参入

研究開発

- 富士フイルム先進研究所が発足 他

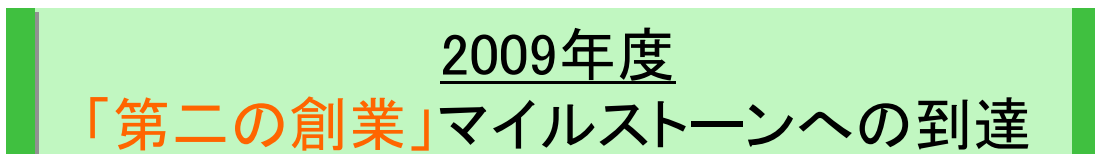
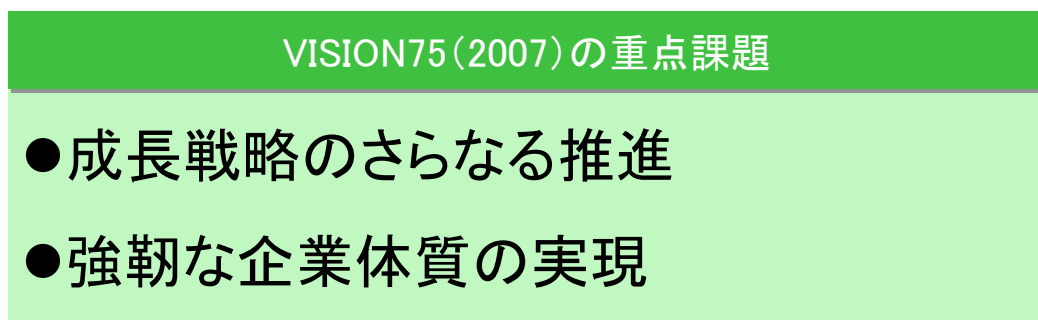


■ 連結経営の強化



4

■ 重点課題



5

■ 成長戦略のさらなる推進

- FPD材料など急成長事業分野における**ダイナミックな設備投資**
- ライフサイエンスなど新規事業分野を中心とした**積極的なM&A**
- 差別性の高い新規技術や新製品開発に向けた**高水準の研究開発投資**

重点事業分野

- メディカルシステム/ライフサイエンス
- グラフィックシステム
- ドキュメント
- 光学デバイス
- 高機能材料
 - ✓ FPD材料
 - ✓ 電子材料
 - ✓ インクジェット用インク

基本戦略

- ユーザーニーズの捕捉と高付加価値製品へのシフトによる競争優位の確保
- 広範な事業ドメインをカバーすることによる、より多くのビジネスチャンスの確保
- グループシナジーの発揮による事業の強化・拡大

■ メディカルシステム事業の拡大/ポートフォリオ転換

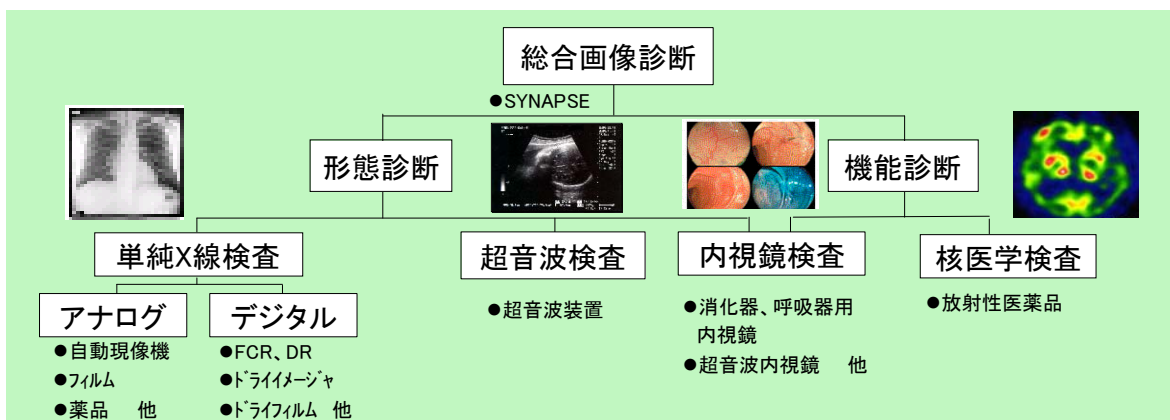
統合画像診断ソリューションプロバイダーとしての事業発展

- 診断モダリティソリューションの拡販
- SYNAPSEの機能強化によるネットワークビジネスの拡大
- 内視鏡・超音波検査部門における受付・検査・データ参照・レポート機能の一元管理システム事業取り込み

新規分野における展開

- (株)富士フイルムRIファーマ*による核医学診断分野でのビジネス発展
- フルデジタル超音波画像診断装置「FAZONE M」を発売
- Given Imaging社とのカプセル内視鏡製品における提携

*2007年4月1日に、「第一ラジオアイソトープ研究所(株)」より社名変更



■ グラフィックシステム事業の拡大

グラフィックシステム事業

- 世界四極事業推進体制の構築による、ワールドワイドでの販売力・コスト競争力強化
- CTPプレート需要増に対する生産能力拡大推進
- 業務用インクジェットプリンターへの参入による富士フィルムセリコールのインクビジネスの拡大



POD分野での富士フィルムと富士ゼロックスのシナジー

<p>富士フィルム</p> <p>✓印刷業界で培ってきた画像や色に関する知見</p> <p>✓印刷システムの販売力</p> <p><i>i-ColorQC</i> <i>C-fir</i></p> <p>カラーマネジメントサービス</p>	+	<p>富士ゼロックス</p> <p>✓オンデマンド印刷の知見</p> <p>フルカラーオンデマンド印刷システム「Xerox iGen3」</p>
--	---	---

8

■ ドキュメントソリューション部門の収益性改善

ソリューション事業の成長加速

- カスタマーニーズの高度化に対応したソリューションビジネスの強化
 - ✓内部統制強化要請への対応
 - ✓基幹分散出力ニーズの取り込み
 - ✓機器・アプリケーションの拡充 等
- 商業印刷分野でのコラボレーション強化

アジア・中国事業の成長の加速

- アジア・中国市場でのカラー複合機シェアNo.1ポジションの更なる強化



9

■ 光学デバイス事業の拡大

市場環境

- カメラ付き携帯電話の需要拡大、メガピクセル化・高機能化の進展
- セキュリティ関連需要の増大による監視カメラ・個人認証用レンズ市場の着実な需要増
- TVのハイビジョン化に伴うTV用カメラレンズHD化の進展

富士フィルムの展開

- カメラ付き携帯電話用を始めとするレンズ需要拡大に対応し中国の深圳・天津工場を中心に生産能力を拡大
- 差別化・高付加価値化商品の投入により各市場でのポジションを確保
- 富士フィルムとフジノのシナジー効果を発揮し、製品開発力強化とコストダウンを推進



深圳工場



天津工場



携帯電話用
レンズユニット

■ FPD材料事業の継続的拡大

フジタック・WVフィルムの安定成長の確保

- 中型(26/32inch) TNモードTVへのWVフィルム搭載拡大
- 富士フィルム九州(株)への設備投資によるフジタック生産能力増強
- 超広幅フジタック生産(神奈川工場足柄サイト第4工場)によるパネルコストダウンへの貢献

TV用偏光板部材の事業拡大

- VA・IPSモード向け高付加価値部材供給の拡大



神奈川工場足柄サイト第4工場
完成イメージ図
(2008年4月稼働予定)



富士フィルム九州(株)

富士フィルムの中核ビジネスとしての柱を担う

■ 写真文化の発展を支える富士フィルム

- デジタル、ネット、携帯などを活用した写真市場の発展
- 「高品質」「利便性向上」「写真の価値・楽しさの提案」追求

- デジタルカメラ事業体制全般にわたる改革・効率化推進

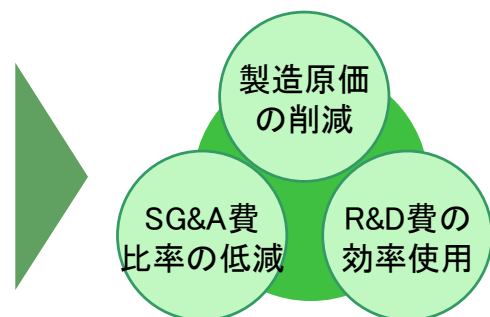


写真文化の情報発信基地
FUJIFILM SQUARE

■ 強靱な企業体質の実現「スリム&ストロング活動」

より強い個・より強い組織の確立
による「企業文化の変革」

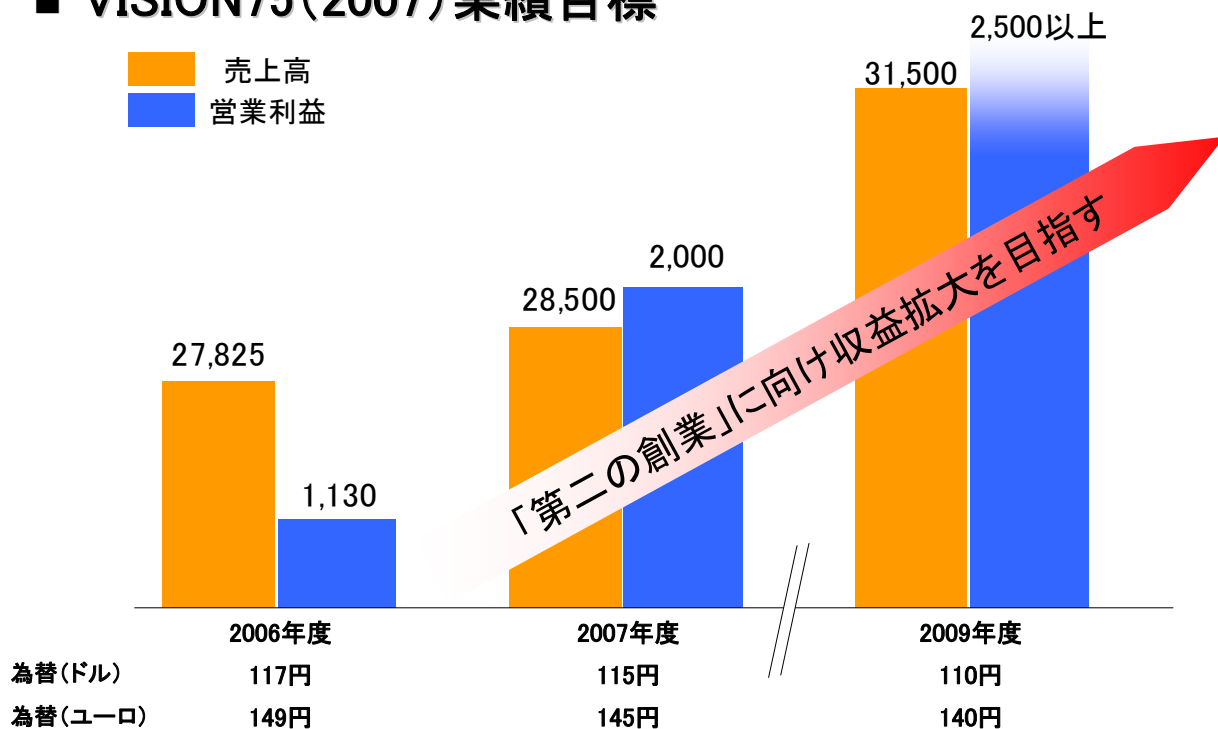
スリムでストロングな
「強靱な企業体質」の実現



- スリム&ストロング活動の展開事例
- シェアードサービスの具体化
 - 物流コストダウンの推進
 - 購買(直接材、設備資材等)改革

■ VISION75(2007)業績目標

(単位: 億円)



■ 設備投資/減価償却費/研究開発費

(単位: 億円)

	2007年度	2007~2009年度累計
設備投資※	2,000	5,500
減価償却費 (有形固定資産分※)	2,200 (1,500)	7,000 (5,000)
研究開発費	2,000	6,000~7,000

※ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く

■ 2007年度業績予想

(単位:億円)

	2007年度 (予想)		2006年度 (実績)		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	100.0%	28,500	100.0%	27,825	+675	+2.4
営業利益	7.0%	2,000	4.1%	1,130	+870	+76.9
税引前利益	7.0%	2,000	3.7%	1,032	+968	+93.7
当期純利益	4.2%	1,200	1.2%	344	+856	+248.4
為替 : 米ドル		115円		117円	-2円	-
: ユーロ		145円		149円	-4円	-

減価償却制度変更による費用増、スリム&ストロング活動費用等

300

2007年度営業利益への
マイナスインパクト

2007年度以降の収益拡大局面をとらえ、連結株主還元性向**25%**をターゲットに設定

16

FUJIFILM

わたしたちは、先進・独自の技術をもって、
最高品質の商品やサービスを提供する事により、
社会の文化・科学・技術・産業の発展、
健康増進、環境保持に貢献し、
人々のクオリティ オブ ライフのさらなる向上に寄与します。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 IR室

<http://www.fujifilmholdings.com>